

専攻科だより

— 海上輸送システム工学専攻第3期生入学 —

専攻科長	葛目幸一
海上輸送システム工学専攻主任	多田光男
生産システム工学専攻主任	藤本隆士

平成19年10月1日、本校第1会議室において午前10時40分から、校長はじめ、教職員、在校専攻科生などの列席のもと、海上輸送システム工学専攻・第3期生(3名)の入学式が挙行されました。式では校長から入学許可がなされ、入学生を代表して植川陽介君が宣誓を行い、校長から式辞が述べられました。式の後には記念撮影が行われました。



校長式辞(要旨)

専攻科海上輸送システム工学専攻は、グローバル化している総合物流システムの中の、海上輸送システムに対応できる運航管理技術者と船用機関システム管理技術者、さらに船舶運航システム管理技術をベースに、海洋環境保全技術を踏まえた海事関連技術分野にも対応できる多種多様な関連技術を有する技術者の育成を目標として平成17年度に設立されました。

専攻科での学校生活は2年という限られた時間であり、思いのほか速く進んでいきます。すでに皆さん方修了後の進路を考えておられるでしょうが、就職にせよ、進学にせよ、多くの時間は無いと言うことを承知しておいてください。最近の海運業界の景気や海事技術者不足により、新規卒業生への期待は誠に大きなところがあります。努力次第で、あらゆる分野に進むことが可能だと思います。

先般、高専校長協会の教育・FD委員会にて卒業生に対して、学校評価アンケートを実施し、その結果がこの夏取りまとめられ公表されました。その中で教育内容の充実を図るべきと考えるものは何かの問いに、「英語力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力」が挙げられていました。皆さん方も、この短い二年間で、このような力が意識的に身に付くような努力をしてください。

むしろ、専攻科の皆さんは、特に本科の低学年にとりましては、憧れの大学生、専攻科生です。彼らのいいお手本になってください。本日入学を許可された皆さんが、初心を忘れず、健康で有意義な学校生活を送られることを期待して、式辞といたします。

新入生の一言

植川：陸上職に就きたい希望があるので学士を取るために進学しました。専門知識を身につけ、学校で学んだ技術を生かせるように

がんばっていきたいと思います。

中橋：本科で十分に学べなかったことを専攻科でしっかり勉強し将来に生かそうと考えています。公務員を目指しているのですが、2年間で仲良く協力してやっていきます。

原田：学士の資格に魅力を感じて進学しました。将来は船員を目指しています。英語や特別研究に力を入れて、これからの2年間、1日1日を大切に生活していきたいです。

卒業生からのメッセージ

石川佑二(海上輸送システム工学専攻第1期生)

私は、平成16年に本科を卒業し、内航の船会社の方へ就職して一年働いておりましたが、退職し、平成17年に専攻科へ入学しました。私がこの専攻科へ入学しようと思った理由としては、学位を取得することが可能ということはもちろんですが、第一の目標として1級海技士(航海)の筆記を取得することが目的でした。なぜ国家試験を第一の目標にしていたかということ、私自身本科卒業後、神戸大への編入試験で落ちたため急遽船会社を探し、2級海技士の筆記を取得していたためうまく就職することができたという経緯があるためです。このようにいつ何があるかわからないために国家試験で自分自身を評価してもらえる材料があれば、就職する際に有利に働くと共に会社はそのやる気を見ているということです。そのため商船学科の学生に言いたいこととしては、まず船に乗る気があれば国家試験の取得を目指すことです。国家試験の勉強をするのに成績が良いとか悪いとか関係ありません。要は自分自身のやる気とその勉強の持続力も問題です。私自身の話ですが、本科の頃成績は中位ぐらいでパッとしましませんでした。その分人より努力し国家試験の勉強に励み取得することができました。また国家試験の勉強は、周りの友達が国家試験を受験し始めたからといって焦って受験してもなかなか勉強はかからないし、取得するのは難しいと思うので注意して下さい。受験するにはそれなりの準備をして挑まないと4科目すべてを取るのには困難でしょう。1回の受験で1科目ずつ取る人もいれば、もっと多くの科目を取る人もいますが、それは人それぞれですので、自分のペースで焦らずじっくり国家試験に挑んだらいいと思いますが、事前にある程度いつまでに取るのかの計画を立てておいた方がいいでしょう。特に大手3社を受けるなら4年の2月までに最低2級は取得するといった目標を立てた方が有利だと思います。ただここでははっきりと言わせてもらいますと、国家試験の勉強はかなりの苦痛を伴うと思っていた方がいいです。私自身また国家試験の勉強をしると言われても拒否したいぐらいです。ですからそれなりの覚悟を持って国家試験に挑まない途中挫折し、卒業する頃に勉強しておけばよかったと思うようになるので気をつけて下さい。

長々と国家試験について述べさせてもらいましたが、今までお世話になった教職員の皆様、色々と迷惑をかけたこともございましたが、どうもありがとうございました。

今後のご健闘をお祈り申し上げます。